



《かえる画賛》関市所蔵

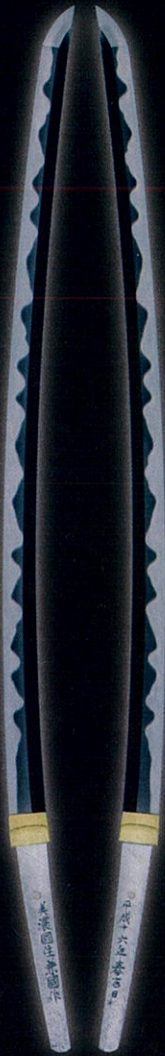
### 武芸川郷土の偉人展

# 刀匠展 × 仙厓展

●尾川 兼國(初代刀匠) ●尾川 兼國(2代目刀匠)

●仙厓 義梵(せんがいぎぼん)

(二七五〇年〜一八三七年)  
美濃国武儀郡高野村(現 関市武芸川町高野)に生まれ、  
沢山のユーモラスな書画を描いた禅僧。



刀銘 美濃國住兼國作 / 平成十八年春吉日(個人蔵)

刀剣撮像 中村 慧

2023 9.26<sup>FRI</sup>-10.9<sup>MON</sup>

2023 10.20<sup>FRI</sup>-11.8<sup>WED</sup>

関市武芸川ふるさと館

特別展示室

《はへの風》関市所蔵



関市武芸川ふるさと館 特別展示室 | 岐阜県関市武芸川町八幡 1566 TEL 0575-45-3010

◎開館時間 / 9:00~16:30 ◎休館日 / 木曜日 ◎入館料 / 無料

■お問合せ / 岐阜県関市武芸川町八幡 1446-1 関市武芸川事務所 TEL 0575-46-2311

《会場マップ》





# 武芸川郷土の偉人展

2023 9.26<sup>TUE</sup>-10.9<sup>MON</sup>

## 尾川兼圀（初代刀匠）

本名、尾川 邦彦（大正14年1月25日～平成24年に87歳で没す。）

大正14年1月25日、武芸川町に生まれ、昭和14年、14歳より刀鍛冶の門をたたき、昭和18年、18歳の時に千葉県で全国最年少の陸軍受命刀匠（軍刀の作刀を認められた刀匠）となり圀忠と銘した。

昭和20年の終戦後しばらくは刀剣とは別の仕事に就いていたが、昭和47年、47歳の時に再び刀工の道を志し27代兼元・金子孫六師に入門し、昭和52年、52歳の時に作刀承認を得る。

新刀名刀展では、平成7年以降に特賞を含む数々の賞を受賞し、平成18年、刀匠界では人間国宝に次ぐ名誉とされる「無鑑査」の認定を受ける。

平成20年6月20日には、岐阜県重要無形文化財「日本刀」保持者に認定された。

作風は、覇気のある相州伝で、特に、打ち寄せる大きな波を思わせる刃文「濤乱刃」を得意とする。

その後も、刀匠として精力的に作刀を続け、86歳まで現役で鋸をとるも、平成24年、87歳で没すが、その優れた技術は、息子である刀匠「尾川兼國（本名：尾川光敏）」に受け継がれている。

## 尾川兼國（二代目刀匠）

本名、尾川 光敏（昭和28年1月18日～）

昭和28年1月18日に尾川兼圀（邦彦）刀匠の次男として生まれ、父の仕事を引き継ぎたいという思いから、昭和61年、33歳の時に父（兼圀）に弟子入りし、平成3年に作刀承認を得る。

二代目を継承し、刀匠銘は、父と同じく「かねくに」と読みますが、初代は「兼圀」、二代目は「兼國」と国の字を異字体にしている。

平成4年より新作名刀展に出品し、努力賞、優秀賞（5回）、文化庁長官賞（2回）、薫山賞、日本美術刀剣保存協会会長賞（2回）、高松宮賞、全日本刀匠会会長賞、お守り刀展覧会岐阜県知事賞など特賞をはじめとした多数の賞を受賞する。

平成18年の初代：兼圀刀匠の無鑑査認定に続き、二代目：兼國刀匠も平成21年に「無鑑査」の認定を受ける。

作品の特徴は、打ち寄せる大きな波を思わせる相州伝の濤乱刃と呼ばれる刃文で、初代：兼圀刀匠が得意とした技法を受け継ぎ、数々の優れた刀剣を作刀している。

平成31年には、平成の30年間に優れた作品を作り上げ、刀匠界に大きく貢献した刀匠を表彰する「平成の名刀・名工展」において名工選を受賞している。

さらに、令和5年2月21日には、初代刀匠：尾川兼圀も認定された岐阜県重要無形文化財「日本刀」保持者に認定された。

作刀活動以外にも、平成12年に、財団法人日本美術刀剣保存協会岐阜県支部理事、平成23年には、全日本刀匠会理事兼東海地方支部の支部長、平成26年からは、文化庁美術刀剣刀匠技術保存研修会講師を務めるなど、刀剣文化の保存・活用・継承に努め刀匠界の発展に尽力している。

2023 10.20<sup>FRI</sup>-11.8<sup>WED</sup>

## 仙厓義梵（せんがい ぎぼん）

禅僧・仙厓（1750年～1837年）

仙厓は、寛延3年に美濃国武儀郡高野村（現 関市武芸川町高野）に生まれ、11歳で清泰寺（現 美濃市殿町）の第十世空印円虚の下で得度（出家）した後、諸国を行脚し、40歳で博多の聖福寺に迎えられ第123代の住職となった。

仙厓は、人々に頼まれるままに沢山の書画を描いたことでも知られている。

「厓画無法（世間の絵には法があるが、自分の絵には決まった法はない。）」と掲げたそのユーモラスな作品は様々な逸話とともに、時代を越えて現在も多くの人々に親しまれている。

刀匠展

Toushou-ten

Sengai-ten

仙厓展